



中央ウェイ

9月号

ブラジルデフリンピックを終えて

主幹教諭 竹見 昌久

夏季休業期間が終わり、まもなく後期に入ります。この後も宿泊防災訓練や三つ葉祭、持久走大会など多くの行事を予定しています。コロナ感染者数も高止まりのまま推移をしていますが、感染症対策をしっかりと行いながら多くの行事が実施できるよう取り組んでまいります。今後とも御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。

今回の中央ウェイでは、学校の活動から少し離れますが私が取り組んでいます「スタートランプ」について紹介させていただきます。今年5月にブラジル・カシアスドスルでデフリンピックが開催されました。世界73の国と地域から2401人の選手が参加し、本校の卒業生も4競技に5名の選手が出場し、メダルを獲得した選手もいました。しかし、テレビの報道でもありましたが、日本選手団に多数のコロナ感染者が出てしまったため、後半の競技はすべて途中棄権となってしまいました。私も、棄権を伝える場面には同席をしていましたが、報告を聞いた選手は座り込んで涙を流す選手もいて、この4年間をデフリンピックのために頑張ってきた選手たちの無念は計り知れないものだと感じました。しかし、選手たちは次の日には気持ちを切り替え、次のデフリンピックに向けてトレーニングを始める選手もいて、この経験をモチベーションに変え動き始めるそのメンタリティーが、代表選手の強さの秘訣なのかもしれません。

私は今回、日本選手団スタッフではなく、競技運営スタッフとして日本が開発をしたスタート合図を光で伝える「スタートランプ」の運営を行いました。ブラジルの審判員とのコミュニケーションはもちろんですが、海外の選手とも国際手話で話をするのですが、慣れてしまえばどの国の選手ともコミュニケーションを取ることができ、手話という共通言語を通して意思疎通ができることのすばらしさを改めて実感しました。スタートランプを海外で使うことは今回で6か国目となりますが、デフリンピックでの採用は初めてとなり、私が活動を始めて10年目の節目に目標としていたデフリンピックでの採用となりました。この活動を通して感じたことは「聴覚障害者の課題は世界共通」であることです。この当たり前のことが、実際に海外に出てみないと気づけないことで、スタートランプ支援はどの国でも大変感謝され、日本のスタートランプが欲しいと要望を受けることもあります。実際にこれまで、台湾、ケニアが購入し、現在もその国で大事に使用されているそうです。こうした聴覚障害者のハンディキャップに対して、海外では配慮をしてくれる国は少なく、補聴器の購入を国から支援してもらえない選手も大勢いますし、ろう学校が数校しかない国もざらにあります。障害者差別禁止法や手話言語法などは聴覚障害者の当然の権利ですが、世界ではそうでない国があることが現実なのです。スタートランプの支援もそうですが、「日本だからできること」「日本にしかできないこと」そういう考え方をもってグローバルな時代を生きていくことは大切ですし、もっと世界中のろう者がハンデを感じずに生活できる世の中になれること、生徒たちと共に考えていきたいと思えます。

学校での様子

7月27日(水)・28日(木)

高等部女子バレーボール部

第71回関東聾学校バレーボール大会

7月27日(水)～28日(木)川崎市とどろきアリーナにおいて、第71回関東聾学校バレーボール大会が開催され、2年連続準優勝という結果を残すことができました。本大会は、3年生にとって高校3年間で、初めて最後の有観客で開催された大会となりました。決勝戦の相手は、昨年惜しくも敗れた平塚聾学校でした。中央ろう学校らしく、最初から最後まで全力で粘り強く戦うことができ、生徒たちにとって思い出に残る大会になったと思います。温かいご支援やご声援、誠にありがとうございました。



8月2日(火)～5日(金) 高等部野球部

第71回関東聾学校野球大会

8月2日から5日までの4日間、駒沢オリンピック公園総合運動場硬式野球場において、第71回関東聾学校野球大会が開かれました。6年生にとって中央ろう学校最後の大会、初の連覇がかかった大会、そして中央ろう学校が大会運営主管校ということもあり、是非とも優勝と意気込んで迎えた大会でした。

初戦、3校連合との対戦。負けられないプレッシャーのなか、立ち上がりには失点を重ね、4対6で敗戦。連覇の夢は残念ながら潰れてしまいました。

3位決定戦、勝って気持ちよく最後を迎えたいと臨み、打線が初回から大爆発。また、投手3人の継投で相手をノーヒットに抑え、21対0の大差で勝つことができました。大会3位という結果でありましたが、内容はとても素晴らしい大会にすることができました。



7月25日(月)～29日(金)

8月24日(水)～30日(火)

インターンシップ(4年)

実際に職場に行って仕事をするインターンシップが、3年ぶりに実施されました。

5年6年の先輩たちも経験のないインターンシップなので、4年生としては、イメージがつかめぬまま、履歴書を書いたり、先生方の説明を聞いたりしていました。実際に挨拶に行くと、学校での様子とは違う生徒たちの緊張した様子が見られました。前期インターンシップ先は、帝国ホテル、JAL サンライト、高井戸図書館、宮前図書館、永福図書館で行い、後期は、JTB データネット、JAL サンライト、烏山図書館、経堂図書館、本校企画室で行いました。

